

平成 30 年度事業方針

一人暮らしの方が増え、地縁関係も薄れてきたと言われている昨今ですが、つながっていることで救える命があり、安心して心豊かに暮らせるのが地域の良さではないかと考えます。

平成 29 年 12 月 12 日付で発出された厚生労働省局長通知「地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進について」という表現にも見られるように、今後、住民に身近な圏域で、お互いが支え支えられの双方向の役割を担い、主体的に地域課題を把握して解決をめざす、という地域共生社会の実現を基本コンセプトとして福祉改革が進んでいくものと思われまます。

稲美町においても、その流れはかわりません。あらゆる生活課題への対応、地域のつながりの再構築。そのために、アウトリーチによる課題の把握、複合的な課題解決に向けた分野横断的な総合相談体制の構築、専門職と地域の活動者ふくめての生活支援体制づくりが重要となります。社協は、行政はじめ様々な組織や団体と連携していくにふさわしいパートナーとして、また、相談窓口・資材の貸し出しなどを通じて、地域に役立つ組織として力を尽くしていかねばなりません。

平成 30 年度は、新たに、生活支援体制整備事業による地域課題やニーズの把握、各種研修会や養成講座による地域づくりに向けた人材確保・育成などに取り組んでまいります。また、社協の組織内部の様々な分野の職員間の連携も進めてまいります。

以下に、継続実施事業を含め主だった活動を記します。

つ な ぐ	居場所づくり	いきいきサロン、オープンかふえ 視覚障害者交流事業、耳の日のつどい、わくわくスポーツ大会
	ボランティア コーディネート	ご当人の主体性を尊重しながら、寄せられたニーズに合わせて、活動したい人の思いにつなぐ ・介護ボランティアポイント事業の継続実施 ・地域生活支援事業 おたがいさんの運営継続
	善意銀行の運営	社協へ寄せられた思いを、困っている方々へ
	組織化	・介護者の会運営支援 (さくら草の会・ほっとファミリー) ・どんまい！！れんげ草ママの会 (=学齢期の障害児を持つ保護者の会) 運営支援 ・生きづらさをかかえる成人をもつ親のつどいの運営支援
	婚 活	金のわらじ等への活動支援
	会議の開催	評議員会、理事会、福祉委員役員会、福祉委員会総会 ボランティア連絡会、ボランティア連絡会役員会、傾聴ボランティア定例会、おたがいさん定例会、福祉教育担当者会議等

つ た え る	情報発信	<p>広報の発行、チラシの発行、 ホームページの運営・フェイスブックの活用 様々なグループの活動情報紹介、助成金情報発信 認知症サポーター養成講座 社協福祉ボランティアまつり いなみふれあいまつり・大池まつりへの参加協力</p>
	啓発講演会	福祉講演会、耳の日のつどい、ボランティア講演会
	講 座	<p>点訳講座、要約筆記講座、手話講座 傾聴ボランティア養成講座、おたがいさんサポーター養成講座 ボランティアサマースクール 運転ボランティアフォローアップ講座</p>
	研修会	福祉委員交流研修、自治会長・福祉委員合同研修 理事研修、ボランティア研修
	福祉教育	<p>福祉教育推進事業（小中学校等への助成） 福祉教育出前講座、地域出前講座、福祉委員を窓口とした懇談会 インスタントシニア体験具・アイマスク・点字版等の貸し出し トライやるウィーク協力 実習生の受け入れ</p>
さ さ え る	介護保険サービス 障害福祉サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所こぶし （ケアプランの作成・介護相談・認知症相談） ・訪問介護事業所スマイル173（高齢者・障害児者・計画相談） ・いなみ訪問看護ステーション （医療的なまなざしで、在宅生活を応援） ・療養通所介護事業所ひだまり畑（医療的見守りの必要な人に） 地域密着型事業所として運営推進会議開催 ・ひなたんぼ小規模多機能ホーム（家庭的な雰囲気の中で、在宅生活の継続を応援）、地域密着型事業所として運営推進会議開催
	見守り・安否確認	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業（日常の金銭管理、見守り等） ・給食の調理、宅配 ・傾聴ボランティアによる訪問 ・認知症高齢者等 SOS ネットワーク事業への協力
	在宅生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・心配ごと相談、無料法律相談、認知症相談などよろず相談受付 ・車椅子、歩行器等の無料貸し出し ・運転ボランティアによる、サロン・セミナー等への送迎 ・朗読テープの送付（広報等の音訳） ・おたがいさんサポーターの訪問 ・布団洗濯サービス ・歳末たすけあい配分事業
	経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金の貸付

		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急生活支援事業（善意銀行より） ・食糧支援 	
	グループ・団体への活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・活動相談、支援 ・ボランティア保険・行事保険の受付 ・活動費の助成 ・ニュースポーツ等の貸し出し ・印刷機の貸し出し（自治会） ・マイクロバスの運行管理 ・助成金情報の発信 ・ボランティア連絡会の運営支援 	
他機関と連携する	会議への出席	町関係	<p>地域ケア会議、その他の高齢者関係会議、相談担当者会議 障害者福祉推進協議会、地域自立支援協議会 健康づくり、子育て支援等各種会議 避難行動要支援者支援連絡会、防災訓練への参加 地域公共交通会議その他の町主催会議 民生委員児童委員協議会定例会への参加</p>
		県社協関係	評議員会、会長会議、事務局長会議、各専門分野別会議 東播磨ブロック会議（会長・事務局長・職員各部会）
		共同募金関係	評議員会、各部会、事務局長会議、職員会議
		県民局関係	東播磨圏域健康福祉推進協議会、東播臨海精神保健協会 こころのネットワーク会議など
		医師会関係	東播認知症連携協議会、加古川地域在宅医療推進協議会
		大学関係	実習懇談会
	参加	社協関係	社会福祉大会、ストップ・ザ・無縁社会連携協議会
		保護司会	社会を明るくする運動
		県民局	心豊かな美しい東播磨を目指す実践推進大会 健康ひょうご21県民運動東播磨会議
	学ぶ	アウトリーチ	町内の社会資源の把握、地域の把握、様々なサービスの需給調整
研修・勉強会		様々な機会を捉えて計画的に研修、情報の共有	
新規に取り組む事業	託児ボランティア養成講座	担い手が少ない状態が続いています。子育て中の世代に合った形でボランティアがかかわれるように養成講座を実施します。	
	買い物ツアー	移動手段がなく、ふだんの買い物が難しい方を対象に、ボランティアの協力を得ながら、実施。活動を通じて、住民同士としてのつながりもめざします。	
	障害年金を考える講座	制度自体が難解な障害年金について、障害当事者や保護者も交えて、公開講座を実施します。	
	生活支援体制整備事業	地域の中に埋もれているニーズの把握、資源の状況把握、不足するサービス・支援の創出、地域住民に対する普及啓発などを通じ、生活支援の基盤整備を推進します。	

平成30年度 稲美町社会福祉協議会事業一覧

NO.	主な対象者	事業名(財源)	事業の概要	予算額
1	子育て世代	夏休みボランティアスクール (共同募金)	毎年夏休みに小学生～一般の方を対象としたボランティアグループの活動体験や、ボランティアはじめの一步講座などの講座を開催します。	68千円
2		福祉教育指定校事業 (共同募金)	福祉への理解と関心を高め、子どもたちの思いやりの心を育てていくための学習を行う事業です。職員による出前講座や福祉用具の貸し出しもを行います。毎年、町内の小中学校(全校)、保育園幼稚園(1園)に助成します。	1,150千円
3		母子父子家庭入学祝い (共同募金)	小学校新1年生がおられる母子父子家庭へ入学祝い金をお渡しします。	60千円
4		子育てひろばの支援 (福祉会費)	子育てひろばグループが印刷される際に、印刷機を無料でお貸しします。	10千円
5		町内保育所への助成 (歳末たすけあい募金)	町内の保育園全園に地域との交流のための助成金を交付します。	291千円
6		トライやるウィークへの協力	2つの中学校の希望者を受け入れ、様々な活動体験の場を提供します。	-
7		講演会、講座での託児	社協主催講演会・講座をはじめ、町主催の行事において、依頼があれば託児をします。	-
8	住民全般	地区懇談会	懇談会のメニューを提示し、自治会のニーズに合わせてテーマを選択していただきます。	-
9		モデル地区指定事業 (共同募金)	福祉ネットワークを全自治会に拡げていくための第1段階として、モデル地区指定を行います。その地区の課題を共に考えながら活動を具体化していきます。	250千円
10		福祉講演会、研修会の開催 (福祉会費)	様々な課題に対応して、啓発活動を行います。	30千円
11		社協福祉ボランティアまつり (共同募金)	年齢やハンディの有無に関わらず誰もが楽しめること、「福祉」に触れ考える機会となることを目指し、ボランティアの皆さんとお祭りを共催します。	300千円
12		社協情報発信 (共同募金)	ホームページやチラシ、広報紙、Facebook等で福祉情報の提供を行います。	893千円
13		福祉用具の貸出 (善意銀行)	介護保険を利用できない方を優先に、車いす・歩行器などの介護機器を無料貸出。自治会や学校での福祉体験するための各種体験グッズを貸出します。インスタントシニア体験具や、アイマスク、白杖、視覚障害体験ゴーグルなどがあります。	125千円
14		各種道具の貸出	自治会における交流会などに、ニュースポーツ器具やポン菓子機、ポップコーン機などを貸出します。	-
15		生活福祉資金の貸付 (県社協受託金)	他制度の利用が困難な低所得者世帯や障害者・高齢者世帯の一時的な経済的ニーズに対応し、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的に金銭の貸し付けをします。(貸付決定には県社協の審査が有ります。)	425千円
16		ボランティア相談	ボランティアに関するさまざまな相談に応じます。	-
17		ボランティア活動への助成 (共同募金・町補助金)	ボランティア活動を支援するため、稲美町ボランティア連絡会所属の各グループ・団体に毎年助成金を交付します。	1,799千円
18		無料法律相談 (福祉会費・町補助金)	無料で法律に関する相談を弁護士がうかがいます(原則第2木曜日)。	288千円
19		心配ごと相談 (福祉会費・町補助金)	身近な相談窓口として法律・福祉の専門家がさまざまな相談に応じます。福祉職からの相談にも枠を拡大します。週により、総合福祉会館・母里福祉会館・障害者ふれあいセンターにて実施。司法書士・民生委員・社協職員(社会福祉士)等が対応します。	134千円
20		認知症相談窓口	身近な人の異変に気が付いたとき、どうしてよいかわからないとき、対応の仕方などについて相談に応じます。	-
21		ボランティア養成講座の開催 (共同募金)	ボランティア活動への初めの一步として各種入門講座を開催します。また、男性が参加しやすいボランティア講座、傾聴講座などを今年も実施します。	170千円
22		運転ボランティア養成講座 (福祉会費)	既に活動中のボランティアさんの協力を得て実施。また、自動車学校に依頼してフォローアップ研修も実施します。	54千円
23		福祉委員活動事業 (福祉会費)	新しく作成した福祉委員活動の手引きをもとに、福祉委員について説明。さらに、地域と社会福祉協議会をつなぐパイプ役として研修会などを通じて福祉について学び、活動していただきます。	389千円
24		地域でお困りの方や団体の応援 (歳末たすけあい募金)	年末に地域で支援を必要とされている方へ助成を行います。	660千円

NO.	主な対象者	事業名（財源）	事業の概要	予算額
25	住民全般	緊急生活支援事業 （善意銀行・歳末たすけあい募金）	緊急で食糧や資金を必要とする方へ、柔軟に支援します。	380千円
26		災害見舞金 （歳末たすけあい募金・善意銀行）	火災等で被災された方の生活を支援するため助成します。	60千円
27		認知症サポーター養成講座の開催	自治会やグループの要請に応じて出前講座を実施します。	-
28		オープンかふえ （福祉会費）	いろいろな人の居場所として、各人の得意なことを発揮していただきます。	56千円
29	高齢者 障害を お持ちの方や 家族	障害者団体への助成 （共同募金）	障害者団体の活動を支援するため、助成金を交付します。	300千円
30		朗読・点字広報の発行 （共同募金・町補助金）	視覚にハンディを持つ方へ、ボランティアグループが作成した社協広報紙「社協だより」や町広報紙「広報いなみ」などを点訳、朗読録音してご自宅へ送付します。カセットテープだけではなく、CDも提供可能です。	10千円
31		聴覚・視覚障害者交流事業 （共同募金）	住民の方が耳や目のハンディに関心・理解を持つことまた、当事者の社会参加支援を目的に、耳の日のつどい、レクリエーション、バス旅行などの交流会を実施します。	60千円
32		障がい児をもつ親の会の活動支援 （共同募金）	ハンディを持つ子どもの親が集まり、想いの共有や勉強会等を行います。 どんまい！！れんげ草ママの会（月に1回会合開催）	50千円
33		生きづらさをかかえる成人をもつ親のつどい運営支援 （福祉会費）	発達障害等により社会になじめない成人をもつ親が悩みや情報を共有できるつどいを運営支援します。	42千円
34		手話教室 （共同募金・町補助金・町受託金）	手話入門・中級教室・通訳者養成講座を開催します。	1,373千円
35		要約筆記講座 （町補助金）	耳にハンディを持つ方に文字で情報をお伝えする要約筆記の初級講座を毎年開催します。	55千円
36		介護者の会の開催 （福祉会費）	介護をされている方のリフレッシュを目的に、情報交換、悩みの共有、勉強会などを行っています。さくら草の会とほっとファミリーの2グループが活動しています。	46千円
37		給食サービス （福祉会費・町補助金）	高齢独居世帯やハンディのある方を対象に、栄養士が考えボランティアが調理したお弁当を、民生委員や配送ボランティアが見守りを兼ねてご自宅までお届けします（7・8月を除く毎週水曜日）。	785千円
38		特別支援学校修学旅行助成 （歳末たすけあい募金）	特別支援学校級生、特別支援学校生の修学旅行に一部助成します。	170千円
39		地域生活支援事業 おたがいさん （共同募金）	くらしの中のちょっとした困りごとを、有償サポーターとともに解決します。	40千円
40		外出支援サービス （町受託金）	いきいきサロンや町主催のいきいきセミナーなどへ参加する場合にご自身では外出が困難であり、ご家族が送迎できない方を運転ボランティアが自宅と会場間を送迎します。	705千円
41		いきいきサロン （町受託金）	おおむね65才以上の方を対象とし、介護予防（転倒・認知症予防）や閉じこもり防止、仲間づくり等を目的とした場です。平成12年に開始し、現在55サロンが開催されています。各会場、年に1回、体力測定を実施しています。	6,971千円
42		日常生活自立支援事業 （県社協受託金）	ご自宅やグループホーム、ケアハウスなどで生活する方で判断能力に不安のある方がご利用いただけるサービスです。日常の金銭管理や、送付書類の確認などをご本人の意思に基づき、生活支援員がサポートします。	184千円
43		介護ボランティアポイント事業 （町委託金）	高齢者が行う介護保険施設等におけるボランティア活動を支援することで、高齢者の地域貢献や社会参加を促進し、自身の介護予防や地域の介護予防を推進します。	1,417千円
44		認知症高齢者等SOSネットワーク 事業への協力	稲美町が実施する標記の事業において、行方不明者の早期発見等のために、情報共有等、協力します。	-
45	介護等が 必要な方	居宅介護支援事業所こびし	看護師や介護福祉士等の資格があるケアマネジャーが利用者やご家族の希望に基づいてケアプランを作成します。また、介護や認知症に関するさまざまな相談もお受けしています。	20,909千円
46		いなみ訪問看護ステーション	看護師がご自宅へ伺い、医師の指示による医療処置や在宅での看取り、理学療法士や作業療法士によるリハビリも実施します。	52,109千円
47		療養通所介護事業所ひだまり畑	看護師主体で通所介護を行います。医療器具の装着および医療処置が必要なために一般の通所施設には通いづらい方をお受けします。1日5名までのとても小規模な事業所のため、お一人お一人にきめ細やかに関わります。	12,882千円

NO.	主な対象者	事業名（財源）	事業の概要	予算額
48	介護等が必要な方	訪問介護事業所スマイルいづみ	介護福祉士やヘルパーがご自宅へ伺い、高齢の方やハンディがある方の身体介護や生活援助サービスを提供します。ガイドヘルプや同行援護も実施します。町からの委託で布団丸洗いの取次ぎをしています。対象は住民税非課税の方です。	34,665千円
49		指定特定相談支援事業所	サービス等利用計画の作成、定期的なモニタリング、支援会議の開催等を通じて、障害のある方が自立した日常生活、より良い地域生活・社会生活をおくることができるよう、一緒に考え、必要に応じて適切な支援を提供していきます。	296千円
50		ひなたんぼ小規模多機能ホーム	通いを中心に訪問、宿泊サービスを柔軟に組み合わせ提供します。住み慣れた地域や自宅で暮らし続けたいという思いを応援します。（登録制25名、通い1日15名、宿泊1日5名）小規模ならではの家庭的な雰囲気の中で過ごしていただきます。	44,326千円
51	平成30年度新規に取組む事業	託児ボランティア養成講座（共同募金）	託児ボランティアの担い手が少ない為、活動者を養成します。子育て中のお母さんの声をひろいながら、子育てを行っている世代の方に合った形で託児ボランティアが関わられるよう託児ボランティアを養成します。	15千円
52		買物ツアー（共同募金）	移動手段のない普段買い物をするのが難しい方を対象にボランティアの協力を得ながら買い物ツアーを行います。活動を通してボランティアと利用者のつながりも作っていきます。	3千円
53		障害年金を考える講座（共同募金）	「生きづらさをかかえる成人をもつ親のつとめ」と共催で、社会保険労務士から制度自体が難解な障害年金について、広く当事者の方・福祉専門職・住民さん向けに講座を実施します。	35千円
54		生活支援体制整備事業（町受託金）	地域の福祉ニーズや資源の状況把握、不足するサービス・支援の創出、ボランティア等担い手の発掘・養成、地域住民に対する活動の普及啓発などを実施し、住民の生活支援の基盤整備を推進します。	4,060千円